

ストレッチング

(その効果と方法について)

～超音波画像診断装置・せん断波エラストグラフィ
(Shearwave elastography:SWE)を用いて～

概要

ストレッチングは、リハビリテーション分野やスポーツ分野において筋の柔軟性を改善することを目的に頻繁に行われています。しかしそのエビデンスについては、今なお不明な点が多いのが事実です。近年の技術革新により非侵襲的に筋の硬さを測定する技術としSWEが開発され、理学療法の領域においても多くの検証が報告されています。SWEは個々の筋の硬さを弾性率で示し、ストレッチングの正しい方法と精確な効果の検証を行うことができるのが特徴です。また筋の性質として筋が収縮や伸張することで弾性率が変化するため、この性質を応用して各筋に対する有効なストレッチング方法の検討することができます。本講義ではSWEの理論について学び、実際の超音波画像診断装置を使用した筋の弾性率の測定の実技、弾性率を測定しながらの正しいストレッチングの方法の実技を行います。SWEを用いた実技中心の本講義で、新しい理学療法の可能性に触れていただければと思います。

【講師】 中村 雅俊先生 (新潟医療福祉大学医療技術学部)

【日時】 2017年12月3日(日)

9:00～16:00 (8:30受付)

【受講料】 7500円 【申し込み方法】 HPにて受付

【HP】 <http://jissen-riha.com>

【問い合わせ】 jissen-riha2@ab.auone-net.jp

【会場】 グリーンホスピタルサプライ(株)4階大会場
(〒565-0853 大阪府吹田市春日3-20-8)

【交通のご案内】 北大阪急行電鉄「桃山台駅」下車
南改札口より南へ徒歩7分

